


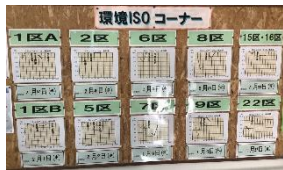


令和5年度（2023年度）学校版環境ISOへの取組

< 学校名：水俣市立水俣第一中学校 >

1 取組の概要報告

(1) 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言	<p>令和5年度水俣第一中学校学校版環境ISO宣言項目</p> <p><生徒版> ○はらコミュニケーション活動に積極的に参加し、参加率85%以上を達成します。 地域のゴミとコミュニケーションを取りながら、正しくゴミを分別します。</p> <p>○資源物とプラスチックを両方とも正しく分別することで、燃やすものの量を減らすことができます。燃やすゴミの量を減らすことで、燃やすゴミの量を減らすことができます。</p> <p>○移動教室や放課後の時間を有効に活用し、教室の整理を徹底してエアコン、クーリングファンを適切に利用し、節電します。</p> <p>○コップを使った歯みがきや、バケツを使った歯磨きを行い、歯磨きの水やりにはできる限り雨水タンクを利用し、節水します。</p> <p>○生徒での資源の有効利用と分別、効率的な清掃活動の工夫、節電・節水に努めます。</p> <p>令和5年度環境ISO宣言項目</p>	<p>環境ISO宣言項目については、<生徒版><職員版>を作成している。本年度は、整美・環境ISO委員会の中で<生徒版>の項目内容について検討し、コミュニケーションの活動における数値目標85%以上の継続を決めた。また、生徒集会において、環境ISO委員が宣言項目を発表し、全校生徒に呼びかけた。その後、廊下掲示板に環境コーナーを設置し、宣言項目を掲示することで、共通理解と共通実践を強調した。</p>
行動	 <p>ごみを分別して回収する様子</p>  <p>集めたごみの計量の様子</p>	<p>コミュニケーション活動(地域ごみ分別収集への生徒参加)については目標参加率を85%以上とし、班長のリーダーシップを中心に呼びかけを行うことで、参加率の向上を目指した。</p> <p>コミュニケーション活動の様子</p>  <p>また、燃やすごみと容器包装プラスチックの正確な分別を行った。ごみ箱に捨てるものを大きく示した。さらに学級で確実な分別を呼びかけたほか、毎週水曜日の昼休みに全クラスから出た燃やすごみと容器包装プラスチックを回収し、正しく分別できているか、紙類が混じっていないかなどを整美・環境ISO委員が確認しながら整理した。</p>
記録	 <p>コミュニケーション活動の掲示</p>	<p>コミュニケーション活動については、参加状況を集計し、目標の達成状況について掲示した。また、環境ISO宣言項目については、年度末に、整美・環境ISO委員が活動状況を点検し、来年度の計画づくりに役立てている。</p>
見直し	<p>ISO宣言に対するアンケート調査を実施したところ、「コップを使った歯磨き」「無言掃除」「コミュニケーション参加について」の3つが課題であることが分かった。2月の委員会活動で改善をするための具体的な方法を決め、3月に周知して4月から活動に取り組むことができるようにしていく。</p>	

(2) 成果と課題

成 果	課 題
コミュニケーション活動の参加率85%以上達成見込みである。(87%:2月現在)また、牛乳やパンの袋など、きちんと分別してごみを捨てる生徒がほとんどである。	「コップを使った歯磨き」「無言掃除」「コミュニケーション参加について」の3つに対しては、歯磨きポスターの掲示や無言掃除中の不定期巡回、帰りの会でのISO委員による呼びかけなどを行うことで改善していくことができるようにしていきたい。